

秀峰

議会だより

第135号

平成25年 3 月定例会

発行日／平成25年 4 月30日

責任者 議会議長 都築正光
編集 議会広報編集特別委員会
事務局 大豊町高須231
電話 0887-72-0450

誕生

議長 都築正光
副議長 重森一宗

○都築正光 議長再任 重森一宗 副議長誕生

3月11日付で都築正光議長、上池如夫副議長から辞職願いが提出され、11日の本会議において辞職が許可された。
同日、議長、副議長選挙を実施し、都築正光氏が議長、重森一宗氏が副議長に当選した。



都築正光 議長

就任あいさつ

再度、議長職をお受けすることになりました。私にとりまして誠に光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感するものであります。本町は全国的にも例を見ない超高齢社会となり、たくさん課題を抱えております。また高知おおとよ製材の操業に伴い最大の資源である森林を核とした大きな事業が計画され推進されております。議員の皆さんのご指導、ご鞭撻をいただき執行部とともに町発展と豊かな町づくりを全力投球で頑張る所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。



重森一宗 副議長

議長就任のあいさついたします。

このたび不肖私、議員の皆さんの多数のご推挙をいただきまして、副議長という大変責任のある要職に就任をさせていただきましたことになりました。議長、議員の皆さんのご指導、ご鞭撻をいただき一生懸命努力する所存でございます。

本町においては過疎高齢化が進展し、住民の皆さんは集落の存続に大変不安を持っております。このような状況下において、高知おおとよ製材が今年の8月から操業されますし、風力発電、バイオマス発電の計画も着々と推進されております。これらの諸問題についても町民の皆さんとともに考え、共に歩み町発展に努力する所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。

●総務産業建設常任委員会

委員長 佐藤 徳治
副委員長 三谷幸一郎
委員 渡辺 則夫
委員 重森 一宗
委員 上池 如夫

●教育民生常任委員会

委員長 西村 正尚
副委員長 小川 智也
委員 前野 由和
委員 都築 正光
委員 今井 安博

●議会運営委員会

委員長 今井 安博
副委員長 渡辺 則夫
委員 前野 由和
委員 佐藤 徳治
委員 上池 如夫
委員 西村 正尚

●広報編集特別委員会

委員長 三谷幸一郎
副委員長 小川 智也
委員 前野 由和
委員 佐藤 徳治
委員 都築 正光

一般質問

ガソリン・灯油などの供給体制を守れ

問 今年の2月1日をもって燃料店地下タンクの改修猶予期間が切れたが、ガソリンスタンドの閉店・廃業対策は
答 具体的支援の結論に至っていないが、商工会の意見を聞く



前野由和 議員

町内の燃料営業店は、ほぼ同じ時期に開店されている。消防法改正による地下タンクの漏えい対策が義務付けられて2月1日で猶予期間が過ぎた。規制改革後、セルフ形式の販売店による1円を争う値下げ競争が激化し、利益率が減少した。公共事業の激減、低燃費車の普及、高齢化と人口減による需要人口の減少、購買行動の広域化なども不採算の要因となっている。多額の改修費を投資しても回収への見通しに不安があつて閉店、廃業を余儀なくされてい

る。広い面積をもつ本町では、高齢者が交通量の多い国道を給油のために移動しなければならぬ事態も予想される。高知おおとよ製材工場操業により、相当量の需要が見込まれる。住民への燃料供給を維持するための対策は。



岩崎憲郎 町長

支援対策について検討してきたが、結論に至っていない。商工会の意見も聞き、最大限の努力をしていく。

一般質問

介護職員の役割は

問 嶺北広域養護、特別養護老人ホーム民営化に対し介護職員への正当な評価をする対応となっているか
答 介護に携わる職員の努力には感謝し評価している

前野由和議員

介護職員処遇改善交付金が打ち切られ、介護報酬に組み込まれた。実質は削減となっている。これすらも当面の期限を切った対応となっている。嶺北広域で運営している大豊園や嶺北荘が民営化への方で動いているが、介護に携わる職員の方の果たしている役割や苦勞に対して正当な評

価をする対応をしているか。

岩崎憲郎町長

介護に携わる職員のサービス充実に向けての努力に感謝している。民営化は教育民生常任委員会の調査結果報告書を重く受け止め、現在嶺北広域で積極的に取り組んでいる。

一般質問

生活保護基準改定の影響は

問 生活保護基準は多くの制度に影響し切り下げによって、さまざまな支援や軽減措置が受けられなくなることへの対応は
答 町単独の支援はできない

前野由和議員

生活保護受給に一部不正があるという報道を理由に、保護基準を下げる

動きがある。物価が下がったからというのが根拠になっているが、パソコンやテレビの性能が高

一般質問

オスプレイ訓練に反対を

問 本土で初めての訓練が大豊上空で行われたが、住民の生命を守る対応を続けよ
答 低空飛行訓練には反対していく

前野由和議員

3月6日～8日にかけて、本土で初めてオスプレイの訓練が大豊上空を含むオレンジルートで行われた。今回はデモンストラーション的に飛び超低空訓練は確認されなかった。高度を下げ夜間に無灯火で重量物をつり下げての訓練をするのではと危惧されている。だんだん慣らされて異常だ

ということが麻痺してしまつ。住民の生命財産を脅かすことに対して、少なくとも日米合意を守り危険な訓練をさせないよう要請せよ。

岩崎憲郎町長

住民に不安、恐怖、危険を感じさせるような訓練には今後とも反対していく。

られることが起きてくるが、どのように対応するのか。

岩崎憲郎町長

生活保護の見直しは公平な制度構築を目指した低所得者世帯との逆転現象や物価下落等に対応するものと理解している。町単独として引き下げに對して支援は考えていない。